

東急病院だより

ふゆ号
2024

大岡山の駅の上・笑顔あふれる東急病院・お役に立つ情報を発信する季刊誌

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、爽やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

3年半近く続いた新型コロナウイルス感染症の猛威も2023年5月より季節性インフルエンザと同等の「5類相当」へと引き下げられ、人々がマスクを外して街を歩く姿も日常風景となってまいりました。しかしながら、まだまだ予断を許さない状況であり、季節性インフルエンザをはじめ他の感染症の流行も危惧される中、当院といたしましては、感染対策の徹底を維持継続しながら、本年も病院運営を行ってまいりたいと存じます。

さて、近年「自宅で療養したい」という在宅医療へのニーズがますます増大しております。当院におきましても、通院困難となった患者さまのご自宅を訪問する「訪問診療」を行っており、昨年より専従医師を2名に増員し、体制を拡充いたしました。今後も受診・検査から入院・退院、在宅療養に至るまで、医療・介護・予防・生活支援を担う各機関と緊密な連携を取り、患者さまやご家族が安心して住み慣れた地域で過ごしていただけるよう、総合的な支援をいたしてまいります。

2023年、当院は開院70周年を迎えました。この間、企業立病院として社員の健康管理のみならず、地域に開かれた病院として、地域の皆さまや医療・介護に関わる皆さまに支えられ歩んできてまいりました。これまで支えてくださった全ての方々に感謝を申し上げますとともに、2024年が、皆さまにとって健康で、平和で、そして輝かしい一年になりますことを祈念申し上げて、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

病院長 徳留 悟朗

TOPIC



訪問リハビリテーションのご案内



■利用者さまが住み慣れた環境で安心して日常生活を送ることができるように、理学療法士などのリハビリテーションの専門スタッフがご自宅でのリハビリテーションを行います。



■病気やケガで低下した身体機能の維持・改善に向けてリハビリテーションを行います。

■実際の生活場面に合わせた動作(移動・移乗・着替え・トイレ・入浴・食事・家事など)の練習や、外出・趣味活動のサポート、介助方法のアドバイス、自主運動の指導、福祉用具・住宅改修の相談・提案などを行います。

～ご利用の対象となる方～

- ▶ 介護保険の認定を受けられている方(要支援1・2、要介護1～5)
- ▶ 当院かかりつけの方
- ▶ 身体的・環境的に通院が困難なため、主治医から自宅でのリハビリ(訪問リハビリ)が必要と認められている方

※ケアマネジャーや主治医とご相談ください。
空き状況によって受け入れを検討させていただきます。

肝臓とは

肝臓は人体内最大の臓器で、代謝や解毒など体にとって大切な多くの働きを同時に行っています。そのため、機能が低下すると、さまざまな病態を引き起こします。また、障害があっても自覚症状が出にくく、黄疸などの明らかな症状が出るころには既に病気が進行している場合があるため、「沈黙の臓器」ともいわれています。

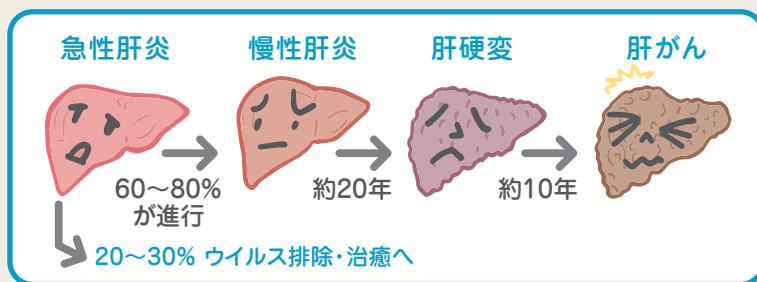


肝臓の主な働き

- 代謝**・・・食物からとった栄養素を体が吸収できるように変化させています。
- 糖の貯蓄**・・・糖を貯えておき、必要な時にはエネルギーとして体内へ送り出します。
- 解毒**・・・体内に入った有害な物質を分解し、毒性の低い物質に変えます。
- 胆汁生成**・・・脂肪の吸収を助け、コレステロールなどを体外に排出する「胆汁」を生成します。

肝炎について

A、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスに感染することで、肝臓に炎症を起こす疾患をウイルス性肝炎といいます。この中でもC型肝炎ウイルスによる肝炎は慢性化しやすく、感染から10～30年

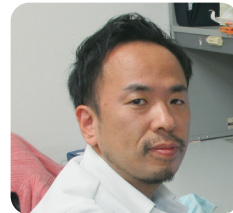


かけて肝臓が硬く変形していき「肝硬変」になります。肝硬変になると、肝臓の機能が低下し、高い確率で肝がんを発症することが知られています。

C型慢性肝炎の治療

C型肝炎ウイルスは血液を介して感染することが多く、ウイルスが発見された1989年以前に輸血を受けた方などに感染のリスクがあります。このウイルスの発見以来、注射薬などの治療薬が開発されてきましたが、治療効果が少ない割に副作用が多く、非常に厳しい治療でした。しかし2014年に、内服薬である直接作用型抗ウイルス薬(DAA)が登場し、C型肝炎の治療は一変しました。副作用が少なく、しかも内服薬なので患者さまの体への負担はほとんどありません。さらに、数種類あるDAAは、いずれもほぼ100%ウイルスを消すことができるという結果が出ています。

内服薬DAAの登場により、C型肝炎は近い将来撲滅できる世の中になってきました。健康診断などで、肝臓の数値が高いといわれている方、輸血をしたことがある方などは、ぜひ一度、消化器・肝臓内科までご相談ください。また、C型肝炎以外の肝疾患、消化器疾患に関しても、随時相談を受け付けております。



内科 医長
松平 浩

【専門領域】

- 肝・胆・膵、消化器病学

【資格】

- 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
- 日本消化器病学会専門医・指導医
- 日本肝臓学会専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会専門医

慢性化しやすく、がん化の恐れも「C型肝炎」



■ 新任・退任医師のお知らせ

【退任】 2023年9月30日付

なかの はるな

内科 中野 春菜

【新任】 2023年12月1日付

しかの まみ

訪問診療 鹿野 真実

■ 新任医師紹介(2023年10月1日着任)



まつだいら ひろし
松平 浩

【診療科】内科 【役職】医長 【専門領域】肝・胆・膵、消化器病学

【経歴】

- 2000年 3月 東京慈恵会医科大学卒業
- 2000年 4月 東京慈恵会医科大学附属病院
病院長直属の研修医として同院で研修開始
- 2005年 4月 東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科講座助手
- 2007年 4月 東京慈恵会医科大学生化学講座第一学内留学
- 2013年10月 厚木市立病院派遣
- 2017年 4月 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター消化器・肝臓内科診療医員
- 2018年 4月 東急病院派遣
- 2021年 4月 東京慈恵会医科大学附属第三病院消化器・肝臓内科診療医員
- 2023年 8月 東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科講師

【資格】

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 / 日本消化器病学会専門医・指導医

日本肝臓学会専門医・指導医 / 日本消化器内視鏡学会専門医

【診療方針】

C型肝炎は、長期罹患により肝硬変を経て肝がんを発症する難治性疾患として知られています。従来C型肝炎治療は、注射型のインターフェロン治療が主流であり、その有効性の低さ、副作用の多さ、投与時の苦痛などが患者さんのみならず、われわれ消化器内科医をも悩ます厄介な問題でありました。しかし2014年に、内服薬である「直接作用型抗ウイルス薬(DAA)」が登場し、C型肝炎治療の様相が一変しました。このDAAはその後研究・改良が加えられ、現在はウイルスのタイプによっては8週間の内服により、大きな副作用もなく、ほぼ100%の方にウイルスの消失が得られるようになりました。私は、大学病院を中心とした今までの臨床経験をもとに、東急病院周辺地域の皆さま、東急グループの皆さまからC型肝炎を駆逐するべく診療に邁進したいと思っております。また、C型肝炎に似て非なるB型肝炎における治療にも、消化器内科としての専門的な知識が要求されます。その他、脂肪肝や胆石症、慢性膵炎といった生活習慣病にも深く関連する消化器疾患の診療にも幅広く対応し、患者さま皆さまに納得していただける医療を提供できるよう尽力してまいります。

【趣味・特技】 旅行、ランニング、高校野球観戦

栄養管理 ニュース

気にしていますか? “舌圧”

~その飲み込みにくさ、舌の筋力低下かもしれません~

とても大切な舌の筋力

食べ物を喉へ送り込むときは、唇を閉じて、舌を口の天井(口蓋)にグッと押し付け、前から後ろへ押し込むように動きます。

舌の力が弱いと、食べ物の一部が喉に残り、誤嚥の元になってしまいます。



舌圧トレーニングをしましょう

●舌先で口の天井を押す練習

- 唇をしっかりと閉じて、
- 舌を口の天井に押し付けます。
- めいっぱいの力で、
- 1回5秒×5~10回

シリコンスプーンを
挟んでもOK



●「パタカラ」練習

- 唇から舌先・奥舌まで、まんべんなく、
- 強く素早く動かす練習です。
- 声に出して「パタカラ」×3回繰り返しで
- 1セット×5~10回

パタカラ
パタカラ
パタカラ



※市販の舌トレーニング用具の利用も有効です。

次回もお楽しみに! 東急病院 栄養管理委員会

東急病院の取り組み



防災訓練を実施しました

2023年10月27日(金)、大規模震災を想定した防災訓練を実施しました。
今回は参加対象部署を拡大し、昨年消防署員の指導下で実施した防災訓練での課題を改善することができました。
今後も新たな課題に取り組むとともに、年々防災訓練の経験者を増やしていき、もしもの時の実効性を高めていきます。



~YouTube「東急病院チャンネル」のお知らせ~

1月中旬ごろ、リハビリ動画の配信を予定しております。

視聴URL▶

https://www.youtube.com/@Tokyu-Hospital_official/



窓口一覧

患者さまからのご予約・お問い合わせ

外来
ご予約

03-3718-3331 (代表)

※自動音声案内にて1番を入力してください。 月～金 13:00～17:00

～紹介状をお持ちの方は～

03-3717-7867

医療連携部門
月～金 8:45～17:00

訪問診療

03-3718-3331 (代表)

※自動音声案内にて3番を入力してください。 月～金 9:00～17:00

人間ドック
ご予約

045-274-1009

月～金 12:30～16:00

健康診断
ご予約

045-902-8957

月～金 10:00～16:00

医療福祉
相談

03-3718-3336

月～金 9:00～17:00

医療・介護関係の方からのご予約・お問い合わせ

外来 救急 同日上部 または 同日下部内視鏡検査

03-3717-7867

医療連携部門事務担当
月～金 8:45～17:00

CT MRI 骨密度検査

03-3718-3573

FAX: 03-6673-2594

放射線科
月～金 8:30～17:00

超音波など

03-3718-3504

生理検査室
月～金 8:30～17:00

入院・転院のご相談

入院中の患者さまに関するお問い合わせ

03-3718-3336

FAX: 03-3717-4138

医療連携部門MSW・看護師
月～金 9:00～17:00

